

ヒートアイランド対策

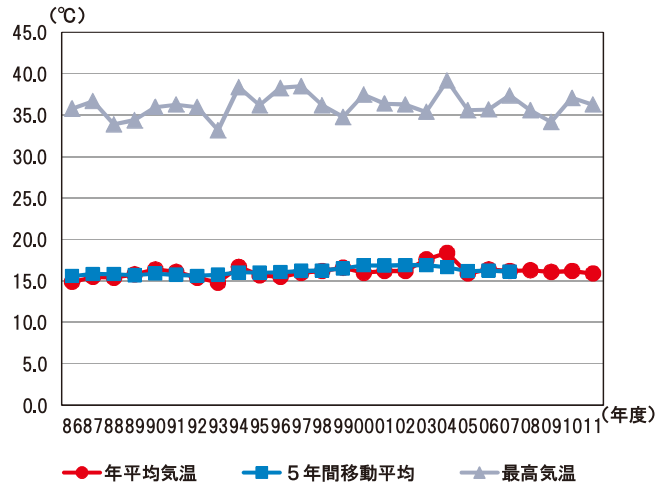
(資料編P46~P47)

豊島区の現状

● 平均気温の推移

2011年度の区の年平均気温は15.9℃、年間最高気温は36.3℃でした。5年間移動平均でみると、1994年以降16℃を超えています。

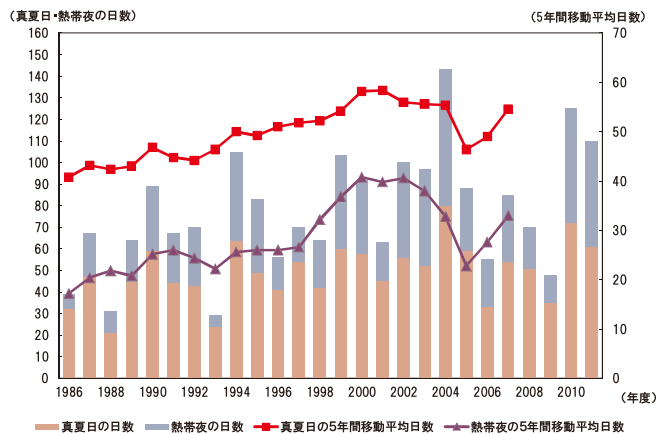
東京の平均気温はこの100年間で3℃上昇しており、ヒートアイランド現象が急速に進行していることがわかります。



● 真夏日・熱帯夜日数の推移

2011年の夏は、猛暑だった前年に比べ真夏日は11日、熱帯夜は4日減少しました。

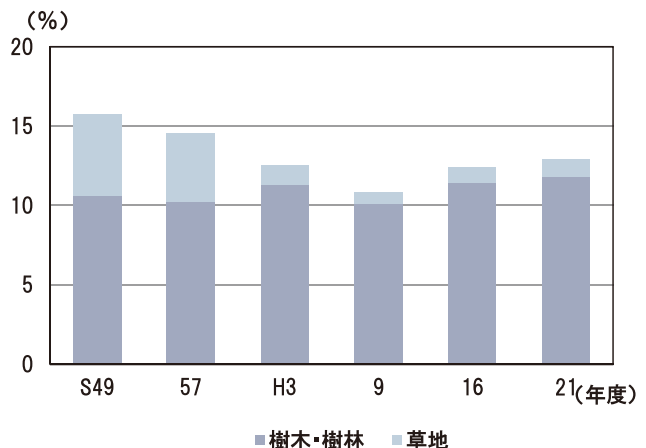
その年の気候による変動はありますが、5年間移動平均でも真夏日・熱帯夜の日数は増加傾向にあるといえます。



● 緑被率の推移

平成21年(2009年)の区の緑被率は、12.9%です。前回調査時の12.4%よりは若干上昇しているものの、依然として緑は少ない状況です。

緑や河川は、地表面の温度を下げる役割を果たします。ヒートアイランド対策では、こうした自然面を増やすことが重要です。



## ● 主な施策の実施状況

ヒートアイランド対策には、比較的短期に効果が見込める個々の建物や敷地への対策とともに、都市開発などと連動した中長期かつ広域的な取組みも必要となってきます。

### ● 地域の緑化活動への支援

民有地の緑化推進のために、つる性植物を春と秋に配布しています。また、生活環境の向上とヒートアイランド現象の緩和などを目的に、民有建物上や接道部の緑化工事について費用の一部を助成しています。

環境問題への関心の高まりとともに、助成制度の存在をきっかけとして、身近な緑を育てる方が増えています。

	実績
つる性植物配布	859 本
屋上緑化助成	5 件 (85 ㎡)
接道緑化助成	4 件 (20m)
壁面緑化助成	1 件 (20 ㎡)

### ● 「緑のカーテン」づくり

窓際でゴーヤなどを育てて、建物の中を涼しくする「緑のカーテン」。平成 21 年度からは区立小学校をはじめ、区民ひろばなどの公共施設でこのカーテンづくりに取り組むとともに、区民向けの講習会を実施しており、取組みは着実に広がっています。

さらに、平成 23 年度は、緑のカーテンの普及啓発活動を全国展開している「緑のカーテン応援団」と、池袋駅周辺で緑化活動を行っている「ゼファー池袋まちづくり」という、2 つの NPO 法人と連携し、「第一回緑のカーテン東京フォーラム in 池袋」を開催しました。

	実績
実施校	27 校
実施公共施設	46 施設
カーテン面積	延べ 2,427 ㎡
講習会参加者	60 名
地域版講習会	2 か所・計 60 名



緑のカーテン（千登世橋中学校）

実施日	会場	参加者数
10 月 30 日	立教大学 タッカーホール	300 名

● 「打ち水」の実施

「打ち水」は、水をまくだけ、というもっとも手軽なヒートアイランド対策です。地表面を冷やし、体感温度を下げ、快適さを向上させる効果があります。

区では「打ち水週間」を設け、区施設や地域の協力を得てあちこちで打ち水を行いました。

	実績
打ち水週間	平成 23 年 8 月 1 日から 8 月 7 日まで
取組施設数	54 施設
地域取組	9 件

● 遮熱性舗装の実施

遮熱性舗装は、ヒートアイランド対策を舗装面からアプローチした工法です。舗装表面に赤外線を反射させる遮熱剤を塗布することで、夏季における昼間の路面温度を一般のアスファルト舗装より 10℃以上低減できることや、夜間における舗装からの放熱量を減らすことが期待できます。平成 23 年度は、劇場通りやサンシャイン周辺で約 2,600 m<sup>2</sup>実施しました。今後も道路の改修に併せて計画的に実施していきます。



● みどりのネットワーク事業

大規模なみどりや敷地内のみどりを街路樹でつなげることで、都市のヒートアイランド現象の緩和を図ることができます。そのため、都市計画道路の整備や既存街路の再整備などの機会に街路樹を整備し、緑化をすすめています。

平成 23 年度にはサンシャイン 60 通りのいたんだ街路樹を植替えました。平成 24 年度には引き続きサンシャイン 60 通りで新たに街路樹を植えて、緑化を向上させていきます。

### ● 池袋西口駅前広場の緑化(モザイカルチャーの設置)

平成 23 年 3 月、池袋西口に誕生したモザイカルチャーは、立体花壇とも言われ、土の少ない都市部における有効な緑化手法の 1 つです。

モザイカルチャーを設置することで、多くの人々が行き交う池袋西口の駅前から、豊島区の環境緑化への取組みを PR し、緑化啓発の象徴として、その活動を推進していきます。

また、地元の NPO 法人と駅前広場の植物維持管理協定を締結し、地元の方々を始め、池袋警察、立教大学の学生と協働で、毎週、維持管理作業を行っています。



維持管理の様子

	実績
維持管理作業	52 回
モザイカルチャー植替え	2 回
花壇植替え	4 回
維持管理講習会	2 回

## 今後の取組み

### ● 界わい緑化推進プログラム

界わい緑化とは、ご近所同士で緑化施工することで、地域コミュニティの形成につなげ、連鎖させることで、まち全体に緑を広げていく取組みです。

界わいとよばれる路地や軒先空間に緑化を展開する、東京都の「界わい緑化推進プログラム」のモデル事業に、23 区で初めて南大塚エリアの計画が採択されました。平成 23 年度は、商店街を中心にワークショップを重ね、平成 24 年度より植栽工事を行います。区は、界わい緑化に係る助成制度を新たに設け、緑化推進の支援を行っていきます。